

令和7年度 学校経営方針

豊後高田市立田染中学校

学校教育目標 郷土を愛し、友と共に深く学び、夢に挑戦する生徒の育成

〈めざす子ども像〉

= 校 訓 =

- 〈 探究 〉 自ら課題を見つけ、解決に向け目的をもって努力する生徒
- 〈 協力 〉 自分の意見をもち、課題解決に向け他者と協働する生徒
- 〈 健康 〉 自己管理ができ、進んで健康・体力づくりに取り組む生徒

〈めざす学校像〉

- 高い教育水準を保ち、若者世代や子育て世代に魅力ある学校
- 地域と協働し、地域に貢献できる人材を育成する学校
- 教育環境が整い、誰もが安心安全に生活できる学校

〈めざす教師像〉

- 情熱と使命感をもった教師
- 学校組織の一員として考え方行動する教師

一人残らず

元気でたのしい学校の創造

〈育成をめざす資質・能力〉 協働する力・挑戦する力（積極的発言+積極的行動=挑戦）

【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】

重点目標 個別最適な学びと協働的な学びによる基礎力の習得、思考力の育成

取組指標

- 授業中に、考え方 OUTPUTする時間を確保する。（OUTPUT重視の授業づくり）
- 個別最適な学びを行う。（努力を要する生徒への手立て・個別課題の提示・ICT活用）
- 協働的な学びを行う。（毎時間1回以上、根拠に基づいて発表する場&意見交流の場の設定）
- 単元に1回以上、探求型授業を行う。

【学びに向かう力・人間性等】

重点目標 自分で考え判断し挑戦する力の涵養

取組指標

- 生徒・保護者と目標を共有し、挑戦する場を設定する。
- 結果よりも生徒の挑戦した過程（勇気・行動）を評価する。
- 生徒自ら計画し、自ら振り返り、自分の成長を確認できる活動を行う。

【学びに向かう力・人間性等】

重点目標 多様な他者と協働する力の涵養

取組指標

- 自他を理解し、協働しながら課題を克服する協働活動を行う。
- 道徳科などで月に1回人権学習を行う。

学校・家庭・地域の協働 田染小中いきいきコミュニティ

『子どもが元気 学校が元気 地域が元気』

選ばれる学校、選ばれる地域をめざして

○高い学力の維持・向上

- ・小学校と連携した学習規律の確立
- ・小中乗り入れ授業
- ・小中合同行事

○充実した補充学習

- ・学びの21世紀塾の活用

○伝統文化継承の取組

- ・地域行事への参加
- ・地域の清掃活動
- ・田染音頭や田染民謡の伝承

○子育て世帯の移住推進

- ・学校紹介、サミット

○定期的な情報発信

- ・学校公開（月1回）
- ・学校通信の発行（月1回）
- ・ホームページの更新

○各種会議

- ・学校運営協議会（年4回）
- ・学力向上会議（年2回）
- ・小中連携会議（年3回）

○安心安全な学校

- ・スクールガードの取組
- ・早朝街頭指導

○P.T.A活動の推進

働き方改革の推進

○環境整備

- ・年間を通して校舎内外を整備
- ・職員室の連絡黒板の設置による会議の削減及び会議資料のデータ化

○職場の雰囲気づくり

- ・信頼関係の構築
- ・職員との双方向の関係を重視
- ・職員の相談に即対応
- ・職員の勤務実態の把握及び助言
- ・新聞記事等を活用した服務規律研修の実施

○教職員の負担軽減

- ・ICTやデジタル教材の有効活用による校務の効率化
- ・地域人材の積極的な活用